

近畿地方整備局 北陸地方整備局
同時発表

配布日時	平成 30 年 10 月 1 日 14 時 00 分
------	-------------------------------

件名	ロシア連邦運輸省等との油防除実働訓練に大型浚渫（しゅんせつ）兼油回収船『白山（はくさん）』及び港湾業務艇『きのかぜ』が参加します
----	--

概要	<p>北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所所属の大型浚渫（しゅんせつ）兼油回収船「白山（はくさん）」と近畿地方整備局舞鶴港湾事務所所属の港湾業務艇「きのかぜ」は、北西太平洋地域海行動計画（North West Pacific Action Plan）の枠組みのもと、ロシア及び海上保安庁をはじめとする国内関係機関とともに、洋上でタンカーと貨物船が衝突し、海上に大量の油が流出した想定の下、油防除実働訓練に参加します。</p> <p>そのうち、「白山（はくさん）」は（５）浮流油回収訓練、「きのかぜ」は（３）航走攪拌（かくはん）訓練に参加します。</p> <p>1. 訓練の日時及び場所 日時：平成 30 年 10 月 3 日（水）午後 1 時～午後 5 時 場所：舞鶴沖（島陰（しまかげ）湾）</p> <p>2. 訓練概要 （１）機動防除隊によるガス検知及び巡視船による人命救助訓練 （２）機動救難士による漂流者吊上げ救助訓練 （３）巡視艇等による油処理剤散布及び航走攪拌（かくはん）訓練 （４）巡視船による放水及び航走攪拌（かくはん）訓練 （５）白山（はくさん）、巡視船等による浮流油回収訓練</p> <p>※取材申込は、別紙のとおり、10 月 1 日（月）までに第八管区海上保安部総務部総務課（FAX0773-76-4103）に送信願います。</p>
----	---

取り扱い	
------	--

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 神戸海運記者クラブ 神戸民放記者クラブ みなと記者クラブ 舞鶴市記者会 北陸地方整備局管内各県政記者クラブ、専門紙
------	--

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長 相馬 昇 Tel : 078-391-3103 国土交通省 北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長 山崎 一雄 Tel : 025-280-8761
------	---

【参考】大型浚渫(しゅんせつ)兼油回収船「白山(はくさん)」の概要

平成9年1月のロシア船籍タンカー「ナホトカ号」による重油流出事故では、約6,000klもの重油が流出し、福井県沿岸をはじめとする日本海沿岸に甚大な被害をもたらしました。

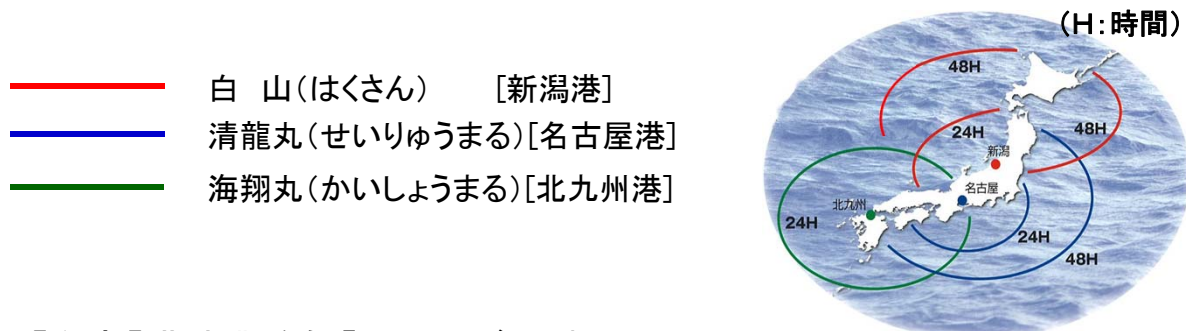
この事故をきっかけに、流出油災害の防除体制の強化が求められ、国土交通省では、日本沿岸の油流出事故に対し、中部地方整備局「清龍丸(せいりゅうまる)」・九州地方整備局「海翔丸(かいしょうまる)」・北陸地方整備局「白山(はくさん)」の油回収船3船体制で48時間以内に現場に到着できる体制を整えることとし、平成14年8月に「白山(はくさん)」が新潟港湾・空港整備事務所に配備されました。

大型浚渫(しゅんせつ)兼油回収船「白山(はくさん)」の諸元

- ・全長93.9m ・幅17.0m
- ・深さ7.5m ・総トン数4,185t
- ・航行速度12.5kt(時速約23km/h)
- ・浚渫方式 サイドドラグ式
- ・泥倉容量 1,350m³
- ・油回収機
舷側設置式 500m³/h×2基
投げ込み式 250m³/h×1基
- ・回収油水槽容量 1,500m³



◆大型浚渫兼油回収船 3船体制での油回収エリア



【参考】港湾業務艇「きのかぜ」の概要

港湾業務艇は、主に舞鶴港湾事務所が実施する工事の監督業務や調査測量に使用する船です。



「きのかぜ」の諸元

- ・全長17.55m
- ・幅4.44m
- ・深さ2.26m
- ・総トン数28t
- ・航行速度23.87kt(時速約44km/h)
- ・平成2年3月28日に竣工



問合せ先

海上保安庁 警備救難部
環境防災課専門官 山根
代表 TEL (03)3591-6361 (内線 3907)
直通 TEL (03)3591-9819

平成30年9月27日
海上保安庁

ロシア及び国内関係機関と油防除実働訓練を実施

-北西太平洋地域海行動計画 (NOWPAP) の枠組みを活用-

海上保安庁は、北西太平洋地域海行動計画 (North West Pacific Action Plan) の枠組みのもと、ロシア及び国内関係機関とともに、洋上でタンカーと貨物船が衝突し、海上に大量の油が流出した想定の下、油防除実働訓練を実施します。

1 油防除実働訓練の日時及び場所

日時：平成30年10月3日(水) 午後1時～午後5時
場所：舞鶴沖(島陰湾)

2 訓練参加機関及び参加勢力

- (1) 海上保安庁：巡視船艇4隻、回転翼航空機1機
機動防除隊、機動救難士
- (2) 北陸地方整備局：大型浚渫兼油回収船「白山」
近畿地方整備局：港湾業務艇「きのかぜ」
- (3) 京都府警察舞鶴警察署警備艇「ゆら」
- (4) 京都府漁業協同組合所属漁船2隻
- (5) ロシア国家海洋河川汚染防止海難救助調整庁救助船「IRBIS」

3 油防除実働訓練概要

洋上でタンカーと貨物船が衝突、海上に大量の油が流出した旨の想定により、関係機関と連携のうえ次の訓練を実施する。

- (1) 機動防除隊によるガス検知及び巡視船による人命救助訓練
- (2) 機動救難士による漂流者吊上げ救助訓練
- (3) 巡視艇等による油処理剤散布及び航走攪拌訓練
- (4) 巡視船による放水及び航走攪拌訓練
- (5) IRBIS、白山、巡視船による浮流油回収訓練

4 主な参加船艇について

- ・ 巡視船だいせん

舞鶴海上保安部所属

全長：105.0m

幅：15.0m

総トン数：3,100 トン



- ・ 巡視船わかさ

舞鶴海上保安部所属

全長：92.0m

幅：11.0m

総トン数：1,250 トン



- ・ 巡視船おき

境海上保安部所属

全長：96.0m

幅：11.5m

総トン数：1,500 トン



- ・ 白山

全長：93.90m

幅：17.00m

総トン数：4,185 トン



- ・ IRBIS (イルビス)

全長：81.37m

幅：15.96m

総トン数：4,013 トン



5 取材申込みについて

取材を希望される方は、10月1日（月）までに別紙「取材申込書」を送付願います。

※油防除実動訓練については、舞鶴西港第三埠頭から巡視船「だいせん」に乗船して訓練状況等の取材が可能です。

6 訓練映像の提供について

訓練終了後、当庁が撮影した訓練映像（動画及び静止画）の提供を予定しています。（10月3日午後6時頃提供予定）

映像の提供を希望される方は、下記まで連絡をお願いします。

第八管区海上保安本部 総務部総務課（広報・地域連携室）

電話：0773-76-4100

ロシア救助船「IRBIS」入港式典及び油防除実動訓練

取材申込書

貴社名

取材希望する内容(希望される内容に○を記載願います)
入港式典（2日） ・ 油防除実動訓練（3日）

ご氏名	ご連絡先(携帯電話等)

※中止時等にご連絡いたしますので、直接ご本人と連絡のとれるご連絡先をご記入下さい。

質問事項等あればご記入下さい

【送信先】

第八管区海上保安本部 総務部総務課（広報・地域連携室）
（FAX 0773-76-4103）

※10月1日（月）午後3時までにご連絡下さい。